

第 25 回日本がん看護学会学術集会

<開催日程> 2011年2月12日(土)・13日(日)

<会場> 神戸国際会議場・神戸国際展示場

厚生労働省委託事業「緩和ケア普及啓発事業」Orange Balloon Project

・ブース出展、学会員への普及啓発、制作物申込み受付

学会参加者総数：4100名

・市民公開講座「がんの痛みを癒す～患者さんとご家族を支えるために～」開催

来客者総数：412名

=ブース出展の様子=



=市民公開講座の様子=





「がんの痛みを癒す」

～患者さんとご家族を支えるために～

2011年2月12日(土) 17:40~19:10
神戸国際会議場3階 国際会議室

参加費
無料

講師

高宮有介(昭和大学医学部 医学教育推進室 専任講師)

1985年昭和大学医学部卒業後、昭和大学外科学教室入局、1990年「がん疼痛対策マニュアルの試作と実践」で医学博士、1992年昭和大学病院緩和ケアチーム、2001年昭和大学横浜市北部病院緩和ケア病棟。2007年より現職。

日本緩和医療学会理事、教育研修委員・日本ホスピス緩和ケア協会理事、教育支援委員・大学病院の緩和ケアを考える会代表世話人、日本死の臨床研修会世話人、雑誌「緩和ケア」編集委員。

主な著書

- 「がんの痛みを癒す」(小学館:1996年)
- 「ナースができる癌疼痛マネジメント」(編著、メヂカルフレンド社:2001年)
- 「臨床緩和ケア(第2版)」(共著、青海社:2009年)

司会

田中京子(大阪府立大学 がん看護学会OBP作業部会委員)

企画のねらい

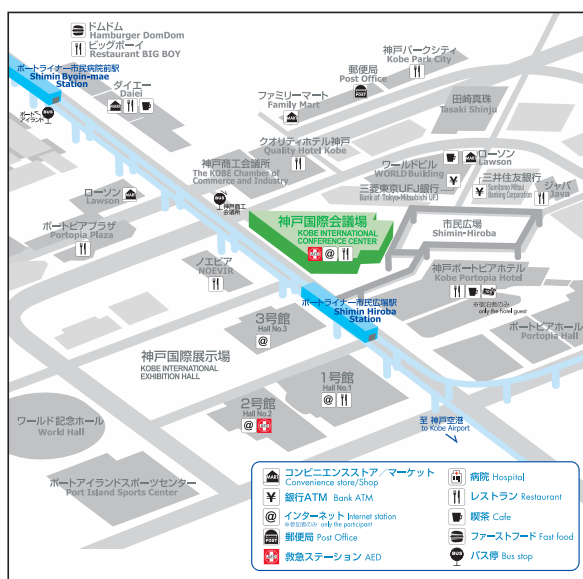
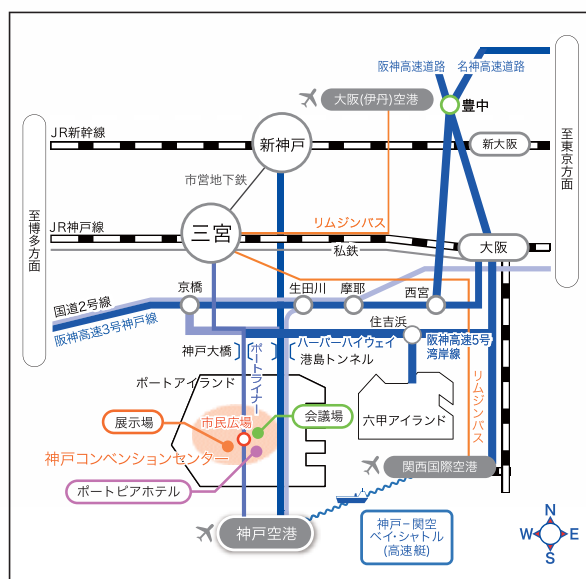
がん患者さんの体の痛みを和らげることは可能になってきましたが、心、とくに死を意識したときの痛み(スピリチュアルペイン)は対応が難しいといわれています。人は死を意識した時、生きてきた意味や役割を振り返り、誰とどのように過ごすかを考え始めます。今回は、患者さんの言葉や手紙、日記をもとにお話しいただき、皆様と緩和ケアについて考える機会にしたいと思います。

主催 / 日本がん看護学会

共催 / 日本緩和医療学会

協賛 / がん性疼痛緩和推進コンソーシアム

アクセス



神戸国際会議場
〒650-0046
神戸市中央区港島中町
6-9-1

電車でお越しの場合

- 「JR新神戸駅」からタクシーで約20分
- 「JR新神戸駅」から市営地下鉄「三宮駅」まで約2分
- 「三宮駅」からポートライナー「市民広場駅」まで約10分
- 「市民広場駅」から会場までは徒歩約5分



お問い合わせ 第25回日本がん看護学会学術集会 運営事務局
〒532-0003 大阪市淀川区宮原4-4-63 新大阪千代田ビル別館9階 株式会社 エー・イー企画 大阪オフィス内
TEL:06-6350-7163 FAX:06-6350-7164 E-mail:jscn25@aeplan.co.jp

おぼえてください『緩和ケア』 <http://www.kanwacare.net>